

生徒が自信を持って主体的に学び合う理科指導の工夫 —他者との関わりを深めるグループ学習を通して—

特別研修員 生徒指導・教育相談 須藤大（高等学校教諭）

生徒指導の目標

- 1 人との関わりをつくることができる
- 2 自信を持って、主体的に学び合える

生徒の実態

- 1 自分の意見を伝えることが苦手な傾向がある
- 2 他者から認められた経験が少ないところがある

教科の目標

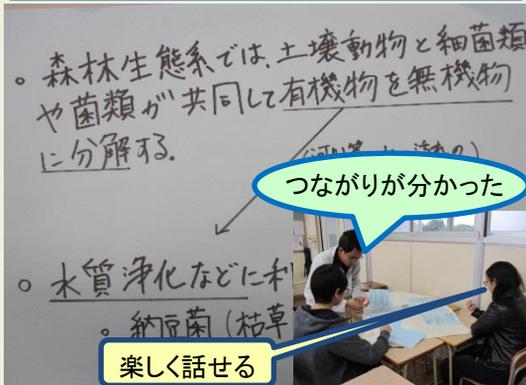
- 1 微生物と日常生活の関連を理解する
- 2 微生物の重要性から生物全体の大切さを理解する

[目指す生徒像] 自信を持って主体的に学び合う生徒

授業の工夫

- 生徒指導に関して
 - ・グループでコンセプトマップを作成をすることで、相談しやすい雰囲気を作った。
 - ・実験、考察において互いに助け合う場面を作り、人との関わりを深められるようにした。
- 教科指導に関して
 - ・コンセプトマップの作成を通して、学習事項のつながりを図式化し理解しやすくした。
 - ・学び合う中で学習事項について何度も考える事により、理科に関する知識の理解を図った。

コンセプトマップ: 学びのつながりを図式化



グループ学習: 学び合う



考えを説明するのが難しい

実験: 人との関わりを深める



まわりが教えてくれる

振り返り: 意見を共有し考えを広げる

生徒のワークシートより

- ・グループで学習すると、みんなという考えられて楽しい。
- ・話していることを分かってくれるから、自信が持てる。
- ・微生物のおかげで、薬が安くなり多くの人が助かった。
- ・微生物の働きを利用したバイオリクターが作られ、食品や薬品が簡単に作れるようになった。

発表: 自信を付ける



みんな分かっているみたいだ!
(良かった)

次は右下の説明だよ!

考察: 考えを学び合う



うれしいな!
(教えてと言われた)

分からない教えて!

成果

- 人と一緒に学ぶことの楽しさを実感し、学習に対して主体的に取り組む姿勢が多く見受けられるようになった。
- コンセプトマップの作成を通して、理科の学習内容を理解した。また、考えをグループでまとめ、発表する活動を通して、学習の取組に自信を持つ生徒が多くなった。

課題

- 学習内容には興味、関心を持っているが人と関わることに消極的な態度を示す生徒が見受けられる。SC等と連携して、人と関わる力を育てる指導を行う必要がある。
- 理科学習に苦手意識を持つ生徒が見られる。グループ学習による学び合い、発表等の活動を通して、学習に対する苦手意識を克服する指導の工夫がさらに必要である。